



2026年10月 病児保育だよ!

いけだ小児科

お気軽にお問い合わせください

☎080-8587-6253



さわやかな秋風が気持ち良い季節になりました。一方、インフルエンザの流行が8月頃から各地で報告されており、様々な感染症への注意が必要となる時期でもあります。手洗いうがいはもちろん、食事や睡眠も十分にとり健康管理に気を付けていきましょう。

インフルエンザについて

ウイルスにはA、B、及びCの3種類があります。例年11月から徐々に患者数が増え始め1月ごろに流行がピークに達し4月過ぎに収束する傾向が多い中、今年は夏季から発生しており流行の程度とピークの時期はその年によって異なります。

★潜伏期間と症状

感染して1～3日間程の潜伏期間後に悪寒、頭痛、咽頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛等を伴って発熱して（通常38℃以上の高熱）約1週間の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザです。嘔吐、下痢の消化器症状もしばしば見られます。発熱は1～5日続き、その後一旦下がった熱がぶりかえすこともあります。咳や鼻汁等の上気道炎症状がこれに続き、解熱後に悪化しやすい傾向があります。

★診断

鼻汁の迅速テストで約1～10分で判定されますが、発熱して8時間くらい経過しないと正確な判断はできないとされています。

★治療

ゾフルーザ、タミフル、リレンザ等の抗ウイルス薬を使用することが可能です。

★出席停止の目安

小学生では発症を0日として5日を経過しかつ解熱後2日（幼児は3日）経過していることが条件です。

インフルエンザ予防接種

ワクチンは感染や発症そのものを完全には防御できませんが、発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の重症化や合併症の発生の予防に有効とされています。

《皮下注射型ワクチン》

6ヶ月以上13歳以下は2～4週間隔で2回接種します。

《点鼻型ワクチン》

2歳以上19歳未満を対象に1回接種します。

流行期には人込みを避け、換気、マスクの着用、うがい、手洗い、アルコールでの手指消毒が大切です。
しっかりと予防しましょう!!

9月に利用された方の病気

- ・下痢
- ・咽頭炎
- ・インフルエンザA